

授業見学用ワークシート

書き方の詳細については裏を誤認ください。

氏名

見学したのは

(講座名)
先生の

月 () 時限: 1, 2, 3, 4, 5, 6

該当箇所に をつけてください。

1 授業中に起きた
ことで再現(強化・
改善)したいとおも
ったことは何です
か?

ここにあげたこと
が「ほめる」の材料
になります。

A

2 それを支えていた「教師の活動」は何だったと思いますか? 以下の4つの分類を意識しながら書いてください。
そのうち、「自分の授業で実践してみたいこと」は丸で囲むかアンダーライン等で強調してください。
この作業で「気づいたこと」「気になったこと」「疑問点」などが「質問」の材料になります。

項目/具体例	効果的だった内容、自分でやってみようと思うこと。
A しくみ (structure)	
目的、目標、構成、 ルール、雰囲気等	
B しかけ (device)	
道具、題材、問題、 ワークシート等	
C 教え方 (how to teach)	
専門知識、板書、声 の調子、ティーチン グスキル	
D 支え方 (how to facilitate)	
場をつくる、場を読 む、介入する、ファ シリテーションスキ ル等	

ヒントをもとに行動計画を作成するときの留意点。

- 1 一般解を求めない。(目の前の生徒に役立つことを考えましょう)
- 2 負担の少ない改善を考えましょう。(毎日続けられる授業改善を!)
- 3 生徒の声を聞きましょう。(生徒の声が最高のアドバイス&ヒント)
- 4 仲間の力を借りましょう。(話してみる、質問してもらう)

生徒も先生も学習・成
長するしくみをつく
りましょう。

見学用ワークシートの使い方

1 他人の授業を見学する目的は「自分の授業に活かせるヒントを得る」ためです。

そのために以下に注目します。

- (1) 授業者の言動だけに注目しないで、むしろ、生徒たちに目を向けてください。
特に「クラス全体や各グループの雰囲気とその時間的变化」、「生徒の発言や行動の様子やその時間的变化」に注目してください。それもできるだけ「良い点」「取り入れたい面」に注目します。
- (2) それらを A の欄に記入してください。可能であれば、「そう感じた具体的な根拠(事実)」もメモしておいてください。例えば、「(クラス全体が)活気がある感じがした」、その根拠は「笑顔の生徒が多い、下を向いている生徒やじっとしている生徒がほとんどいない」などです。
- (3) ここに書いたことが、この授業で「いいな」と感じたところです。それを「振り返り会」のときに発表してください。

2 次に A でとりあげた「よい点」を自分の授業で再現するためのヒントを考えます。

- (1) その「よい点」は必ず担当教師がしている「何か」が原因になっています。その原因を探り、それと同じことを自分の実践できたら、その「よい点」を再現できる可能性が高い、と考えています。
- (2) そこで、B の表にあげた「4つの観点」を手がかりに、授業者の実践のどこが「よい点」を支えているのかを考えて記入します。

(例) よい点「生徒が先生に頼ることなく互いに協力して問題を解いていた」

- 理由「A チームで協力するというルールが効果的」
「B 練習問題の配列や数が生徒の能力にマッチしている」
「C 簡潔で短い説明だから演習時間を十分に確保できる」
「D 『チームで協力できていますか?』の介入が効果的だった」

- (3) ここで考えたことを、自分の実践に移そうと具体的に考えると、疑問が生じます。それを、振り返り会の時の、「気づきを促す質問」で出します。

(例) 「あのルールはどうやって考えついたのですか？」
「練習問題の質や量はどのように、決めているのですか？」
「簡潔な説明をするためにどんな準備をしていますか？」
「どのチームに、いち、なんと言って介入するかの指針はありますか？」

3 「気づきを促す質問」はアクティブラーニング型授業のスキルとしても大切です。「振り返り会」の肝になる箇所です。ぜひ、「役立つ質問」「全員に価値のある質問」を考えてください。とは言え、素朴な疑問が大きな効果をもたらすこともあります。色々な質問、疑問をメモしておいてください。

4 アドバイスは「振り返り会」の中では発言してもらう時間はないと思います。その代わりに「ラブレター」を書いてもらいます。この時、「愛と勇気を伝える精神」が大切です。この精神で授業者に役立つアドバイスや役立つ文献や人を紹介してください。

